

一般社団法人



～確かな品を長く側に～

新しい年を楽しむ 展示会

日々を豊かに彩る

12月26日～令和7年1月26日

彩遊の号 No.51

(一社)愛海詩
会報

令和6年12月25日発行

編集発行人/一般社団法人愛海詩
佐藤 睦子

〒064-0821

札幌市中央区北1条西28丁目2番17号
TEL・FAX/(011)613-1112

WEBSITE

https://i-emishi.com/
E-mail:issya@emishi-s.com

北の街は雪が降り積もり、本格的な冬の到来の季節です。冬の語源は、「冷ゆ」また、「生命力を呼び覚ます」「振る」、振動して春を迎える「振ゆ」の意とも言います。リスクを抱えながら寒さに耐えて春を待つ。北の街に住む人々には、根気強さと、忍耐力がより、強く備わっているように、その一つの気質を尊びたいと思います。

令和六年の日めくり暦も、残すところあと僅か。年が暮れて行く中で、過ごして来た一年を振り返りますと、特に今年は感慨深いものが過ります。(一社)愛海詩は、新たな出会いと、切ない別れの中で、それは正に禍福の体を表し、糾える縄の如くでありまして、良くも悪しくも多くを学びました。そして、「一喜一憂のざわめく胸中をできるだけ落ち着かせ、「あるがまま」をよく見極めて、整えて行こうと、励んだ一年でした。そんな中、愛海詩の会員を始め、みなさまに励ましをいただき、一つ一つのやるべき事を無事に成し、働く中で、喜びの声を多く頂き、今はホッと胸を撫でおろしています。

令和六年はみなさまにとりまして、どのような年でしたでしょうか。そして令和七年に思いを馳せる時、明るい未来は見えておられますでしょうか。愛海詩は令和七年のスケジュールもとんとんと決まっております。その一つ一つが楽しみで、ワクワクしているのです。折りにつけ、またみなさまにご紹介させていただきます。どうぞ、お楽しみに。

私は、「陽来復の摂理を思いつつ、来たるべく新しい年に希望の光を見えています。そして下に記す、「愛海詩の思い」を忽せにせず、感動、感受、感謝を胸にみなさまと一期一会を重ねたく思います。

令和七年も、職人、作家、愛海詩の会員みなさまにとって、佳き年でありませう、心より祈念しております。

(佐藤 睦子)



木工作家・甲斐幸太郎氏を囲む会の様子。
(一社)愛海詩2階で二日間させていただきました。木の話や甲斐氏の創作作品の話、実際に木の板を少し削ったりして学びと体験の時間を企画させていただきました。第一線で活躍されている甲斐幸太郎氏とのやりとりは楽しい気づきの時をいただきました。

一般社団法人愛海詩・会員募集のご案内

●● 愛海詩の思い Corporate Identity ●●

- ◆ 文化的働きを大切に、北海道に貢献する。
- ◆ 素晴らしい職人、作家の技と心を応援する。
- ◆ 一人一人の生活が心豊かになるよう、各々の佳き出会いと学びを大切にする。

一般社団法人愛海詩は上記3つの思いを大切にその活動を進めて参ります。北海道においての文化的輪を広げ、驚いで行きます。当社団法人の思い、活動等にご賛同いただき、賛助会員、特別会員、法人会員、いずれかにご加入いただきますよう、ご案内申し上げます。

年会費	会員特典
・賛助会員:1口 1万円 ・法人会員:1口 5万円	・会報の配布 ・イベントの会員割引 ・会費半額の作品購入チケット配布 ◆ その他優待あり
・特別会員:3万円以上	◆ 各 複数口可

お問い合わせ、ご連絡等は下記「一般社団法人愛海詩」までお寄せ下さい。
「一般社団法人愛海詩ご連絡先」 〒064-0821 札幌市中央区北1条西28丁目2-17
TEL/FAX:011-613-1112 E-mail:issya@emishi-s.com

令和6年・愛海詩トピック

令和6年は愛海詩が(一社)になり、1年目でした。はじめは何時も荒波を乗り越えて行かなければ...ということもございました。そんな中ではございましたが楽しいこと、素晴らしい出会いも沢山ありました。

- 2月15日～3月3日 ひなまつりを楽しむ展示会
- 3月21日～4月21日 桜の季を楽しむ展示会
- 7月23日～8月11日 短い夏を愛しみ、使いたい品々
- 10月1日～10月20日 木工作家・甲斐幸太郎氏作品展
- 10月10日、11日 甲斐幸太郎氏を囲む会
- 11月30日 Mo...佳い会Vol7、渡島信用金庫理事長講演
- 12月10日～12月15日 ハレの日を寿ぐ展示会、於・ギャラリー大通美術館



令和6年「Mo...佳い会Vol.7」文化と出会いの灯りをとす会の参加者の皆さま。

お話しテーマは「渡島信金114年、北海道の魅力と可能性」、講師は渡島信金理事長、伊藤新吉様です。理事長のお話しは核心を突き、皆さまを盛り上げつつ、有意義なひと時でした。



菊の好作 バッグ
(高さ18cm×口径24cm)
職人の技を集めたバッグです。菊の好の一流の職人手技です。一点もので、逸品。ボディは、いぶし銀の深みを感じさせる色合いで円熟味のある美しさを醸し出しています。和風はもちろん、洋装でもエレガントでクールな佇まいを約束するバッグです。



京焼 抹茶盤 北斗作 紅白梅花
(高さ8cm×口径12cm)
紅白と金の色合いが考く時を優しく写してくれているようです。内にも外にも梅の花を描き込み、その一輪一輪の配置が絶妙で華やか。つぼみも愛らしく心を和ませてくれます。



嵯峨面 干支 巳 三代目・藤原学石作
(たて22cm×横13cm)
厄除けや魔除けの願いの下創られています。古い和紙を幾重にも重ねて立体的に創られています。神社やお寺、料亭、茶道の家元でも飾られています。



清水焼 寺田嘉扇作 煎茶碗セット
(高さ4cm×口径6.5cm)
赤絵の青海波が高台から上に描き上げられ、金の字に赤絵で、風揚げや馬乗りをしている童が活き活きと伸びやかな線で描かれています。



有田焼 南天夫婦湯呑
(高さ8.5cm×口径6cm)
南天は「麗を転ずる」...と、縁起の良い植物です。香筒ならでの制作技術の高さが伺えます。おいしいお茶を入れて、心と体を芯からホッとさせる湯呑み。側に置いて愛でてください。また、お祝い、贈答としても喜ばれます。



手割り椀 甲斐幸太郎作 材質 桜
(左右の椀 高さ8cm×口径13cm、面取椀 高さ5.5cm×口径10.5cm)
高台に続き、ボディまで1本の桜の木でひと削り、ひと削り、丁寧に作られています。手技のぬくもりが優しく伝わってきます。毎日使って飽きない、本物の質感があります。



有田焼 Kogane・Shiroganeシリーズ タンブラー
(高さ9cm×口径9cm)
日本の磁器発祥地、有田にて、140年におよび伝統の技と美を継承して来た香蘭社の新作です。日々の生活に楽しさと華やかさを彩る器です。金と銀のタンブラー。美意識とトレンドを感じさせます。



備前焼 桃蹊堂二十六代・木村桃山作 カップ&ソーサー
(カップの大きさ たて7.5cm×口径7cm)
愛海詩のオリジナル作品です。他には置いてございません。木村桃山氏と愛海詩が何度もやりとりを重ねて出来上がった素晴らしい作品。備前焼独自の薪による焼成が使うごとに物語を重ねよう。

◆ お誘い ◆

文化を語る会・Vol 4

新しい年を迎えるにあたり、ミニ新年会を企画致しました。今年はテーブルコーディネーターの後藤周子氏と共に、少し早いおひなまつりのコーディネート、その歴史を学び、和の文化をみなさんと共に語り合いたい...と思っております。どなたでも参加できる豊かな楽しい会です。各日先着5名様、(一社)愛海詩にご連絡ご予約下さいませ。

日時	令和7年1月25日(土) 1月26日(日) 午後2時から午後3時半まで	場所	(一社)愛海詩2F	参加費	6,500円 (テーブルコーディネーター、 レクチャー、お茶、お菓子付き)
----	---	----	-----------	-----	---

(一社)愛海詩提供・ラジオ番組お知らせ

毎週木曜日、FMラジオカロス札幌78.1MHz、午前11時から約1時間、当社愛海詩の佐藤が生放送させていただきます。文化を伝える、本物の手仕事を応援する番組です。コンセプトは Heart to Heart☆Hand to Hand。(土曜日、午前11時から再放送します。サイマルラジオでも聞くことができます) どうぞお聞き下さいませ。(令和7年1月2日(木)はお休みです)

(一社)愛海詩お知らせ

愛海詩は12月31日(火)お休みをいただきます。また、12月27日(金)～1月5日(日)まで不定期にオープンさせていただきます。愛海詩にご連絡の上、いらして下されば幸いです。年末年始、ご面倒をおかけ致します。

